

令和6年度 仙台市立山田中学校

各教科シラバス 3学年

☆シラバス (Syllabus) について☆

1 「シラバス (Syllabus)」とは

シラバスという言葉は、ギリシャ語のSittuba(羊皮紙でできた書籍ラベル)からきています。シラバスには1年間(もしくは3年間)の授業の内容、学習方法、成績評価の方針等が記載されています。

2 「シラバス (Syllabus)」の目的

1年間(もしくは3年間)の授業の流れを見通せるよう、次のような目的で作成しました。よく読んで、毎日の学習に役立ててほしいと思います。

- ①必要な情報を提供することで、計画的な学習を支援します。
- ②学習内容を事前に知らせることで、積極的な授業参加を促します。
- ③自ら学習計画を立てやすくします。

3 保護者の皆様へ

シラバスを作成することにより生徒の皆さんはもとより、保護者の皆様にも本校の各教科の学習内容、学習(授業)の進め方、評価といったことについて御理解いただき、毎日の学習を進めるための指針にしてほしいと考えています。

特に保護者の皆様には以下の点を御理解いただきたいと思います。

- ①生徒の皆さんと保護者の皆様、学校の三者が学習内容を把握すること
 - ②授業やその評価に関する情報を共有すること
- ぜひ、御覧いただいて、役立ててほしいと思います。

4 その他

学校行事等、諸事情により年間計画を変更して授業を進める場合があります。その際は生徒に連絡をしますので、御了承ください。

第3学年 教科【国語】

○学習目標 「豊かな言語感覚を身に付ける」 「話す・聞く」「書く」「読む」「ことば」 国語の基礎・基本を身に付ける。		
○学習の進め方と学習内容・学習のポイント [学校] ・自ら学ぶ意欲を持ち、授業中の活動・課題に積極的に取り組むこと。 ・板書事項をノートに丁寧に写すだけでなく、質問・課題に対する自分の考え・意見をまとめる。 [家庭] ・すらすらと読めるまで、教科書の音読に繰り返し取り組む。(国語の力の土台になります) ・宿題にきちんと取り組む。漢字の練習や語句の意味調べなども積極的に行う。 ・日ごろからさまざまな種類の本を読み、読解力を付ける。 ・定期考査前に、教科書やノートなどを見直し、ワークやプリントの問題に何回も取り組む。		
月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
4	・世界は美しいと	・詩の特徴を生かしながら、自分なりの解釈を踏まえ朗読する。
	・握手	・物語の展開のしかたの特徴や効果を捉え、登場人物の生き方や価値観について考える。
	・評価しながら聞く	・自分の考えと比べたり、表現に生かしたい点を意識したりしながら聞き、意見の内容や表現のしかたについて評価し、伝え合う。
5	・学びて時にこれを習ふ	・「論語」を読み、孔子の生き方や考え方を捉え、自分の意見を持つ。
	・作られた「物語」を超えて	・話題と筆者の主張、論理の展開を捉え、評価する。
6	・説得力のある構成を考えよう (弁論文を書こう)	・根拠となる情報の信頼性を確かめ、多様な考えを想定しながら材料を整理し、相手を説得できるように話の構成を工夫し、スピーチをする。
	・すいかは幾つ必要?	・品詞の働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。
	・実用的な文章を読もう	・報道文を比較して読み、実用的な文章を読むときや書くときのポイントを理解し、今後報道文を読む際に意識していきたいと思うことを伝え合う。
7	・俳句の可能性	・俳句の約束事を知り、短詩型の表現の深さを捉える。
	・俳句を味わう	・俳句の中に広がる、豊かな言葉の世界を捉える。
	・言葉を選ぼう	・時間の経過や世代による言葉の違いを理解する。
9	・挨拶	・詩の構成や表現のしかたについて評価し、自分の考えを広げ、深める。
	・故郷	・場面や登場人物の設定に着目して読み取り、読み深めたことを踏まえ、作品のもつ特性や価値について批評する。
	・文章の種類を選んで書こう	・文章の種類を選択し、論理の展開などを考え紙面構成を工夫し修学旅行記を書く。
10	・人工知能との未来 人間と人工知能と創造性	・二つの文章を比較して共通点や相違点を捉え、筆者の考えを手がかりに、「これからの時代に大切なこと」を考え、討論する。
	・多角的に分析して書こう	・題材を選び、観点を決めて分析し、批評文を書く。
10	・話し合いを効果的に進める	・進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりする。
	・合意形成に向けて話し合おう	
11	・初恋	・言葉の響きやリズムを味わいながら詩を朗読し、語句の意味や表現に込められた作者の思いを読み取る。
12	・書きぞめ練習	・行書の特徴を捉え、美しい作品を仕上げる。
	・古今和歌集 仮名序	・三つの歌集の歌を比較したり朗読したりして、それぞれの作者の心情や情景を想像し、和歌の世界を味わう。
1	・君待つと一万葉・古今・新古今	
	・夏草-「おくのほそ道」から	・歴史的背景や芭蕉の「旅」についての考えを読み取り、現代の「旅」がもつ意味と比較したり、芭蕉が見たものや感じたことを想像したりして読み味わう。
2	・誰かの代わりに	・抽象的な概念を表す語句の文脈上での意味に注意しながら読み、社会や人間に対する筆者の考えを捉え、自分の考えと比較する。
	・情報を読み取って文章を書こう	・グラフから情報を客観的に読み取り分析し、構成や内容を考えて小論文を書く。
	・「ない」の違いがわからない?	・単語の類別、単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて復習する。
3	・温かいスープ	・筆者の考える「国際性」について捉え、それについて自分の考えをもつ。 ・作者の思いや作品のメッセージを読み取り、自分の可能性について考える。
	・三年間の歩みを振り返ろう	・三年間の学びを振り返り、テーマを決めて発表する。
	・高校入試対策問題演習	・高校入試突破を目指して、問題演習に取り組む。
《評価の観点》・言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、言語文化について、その特質を理解し適切に使っている。 ・話すこと・聞くこと、書くこと、読むことについて、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使うとしている。		
《評価の方法》・授業中の学習活動、定期考査、小テスト、提出課題の内容		

○学習目標

- ・歴史的事象に関心を持ち、時代の特色を踏まえながら、世界の歴史を背景に我が国の歴史の大きな流れを理解・考察・判断できるようにする。
- ・現代の社会的事象に関心を持ち、広い視野に立ってより良い社会を考え、「公民」としての自覚を持てるようにする。
- ・社会的事象を多面的・多角的に考察するための調べ方や学び方の基本を身に付け、未来社会の形成者としての資質の向上をはかる。

○学習の進め方と学習内容・学習のポイント

- [授業前日] … 教科書を読み、『予習課題』を必ずやり終えて授業に臨もう。
- [授 業] … 『ワークシート』をノートに貼り、大事な内容は必ずシートに記入しよう。
積極的に発言をしよう。疑問点はその日のうちに解決すること。
- [授業当日] … 授業を振り返り、『確認テスト』をクリアできるよう復習に取り組もう。
『自己評価カード』を記入し、学習への取り組みを振り返ろう。
- [週 末] … ワーク(『社会の自主学習』)に取り組み、今週の理解度を確認しよう。
(1回やって終わりではなく、できるようになるまで繰り返すこと)
- [その他] … テレビや新聞のニュースにふれ、今、世の中で何が起きているのかに関心をもとう。

月	学習内容(単元・領域)	学習のポイント(ねらい)
4	【歴史】(教科書 P210～P255) 第2部 歴史の大きな流れと時代の移り変わり 第5章 二度の世界大戦と日本	【歴史】 ◇第一次世界大戦の性格が帝国主義戦争であったことをつかみ、戦後の国際協調と民族運動を理解する。 ◇昭和初期から第二次世界大戦終結までの日本の政治、外交、経済、社会の動きを国際関係を背景に理解する。
5	第1節 第一次世界大戦と民族独立の動き 第2節 高まるデモクラシーの意識 第3節 戦争に向かう世論 第4節 第二次世界大戦の惨禍	
6	【歴史】(教科書 P256～P287) 第6章 現在に続く日本と世界 第1節 敗戦から立ち直る日本 第2節 世界の多極化と日本の成長 第3節 これからの日本と世界	◇第二次世界大戦後、日本の民主化と再建の過程を世界の動きと関連させて理解する。 ◇現代の近隣諸国との関係や冷戦後の国際社会の中での日本の役割について考える。
7	【公民】(教科書 P6～P36) 第1章 現代社会の私たち 1節 現代社会の特色と私たち 2節 私たちの生活と文化 3節 現代社会の見方や考え方	【公民】 ◇グローバル化、少子高齢化の進展で社会生活がどのように変化したのか、現代社会の成立や特色について考える。 ◇身近な社会問題をどのように解決していけばよいのか、話し合いのときに気をつけることを理解する。
8	【公民】(教科書 P37～P74) 第2章 個人の尊厳と日本国憲法 1節 人権と日本国憲法 2節 人権と共生社会 3節 これからの人権保障	◇日本国憲法の基本原則について学習し、自由・権利と責任・義務の関係を理解する。 ◇人権保障が大切にされている理由について考察し、現代社会の課題解決に向けて主体的に関わろうとする。
9		
10	【公民】(教科書 P75～P126) 第3章 現代の民主政治と社会 1節 現代の民主政治 2節 国の政治の仕組み 3節 地方自治と私たち	◇自分の生活と政治の関わりについて関心を持ち、現代日本の政治の動きを多面的、多角的に考察し、「将来の主権者としての自分」に向けての自覚を高める。 ◇国や地方公共団体の政治の仕組み、選挙制度や政党など政治参加の仕組みについて学習し、主権者として政治に参加する意欲を高める。
11	【公民】(教科書 P127～P178) 第4章 私たちの暮らしと経済 1節 消費生活と市場経済 2節 生産と労働 3節 市場経済の仕組みと金融 4節 財政と国民の福祉 5節 これからの経済と社会	◇身近な消費生活を通して、経済活動の意義について関心を持つ。 ◇生産・消費を軸に市場経済の仕組みについて理解、考察を深め、「将来の(経済的に)自立した自分」に向けての自覚を高める。
12		
1	【公民】(教科書 P179～P218) 第5章 地球社会と私たち 1節 国際社会の仕組み 2節 さまざまな国際問題 3節 これからの地球社会と日本	◇国際社会の抱えている地球的、人類的な課題と、その解決のためにどのような努力がなされているかを理解する。
2		
3	終章 より良い社会を目指して	◇社会の形成者として私(私たち)には何ができるのかレポートの作成を通して考え、3年間の学習内容を復習する。

《評価の観点》

- ・近現代における日本の特色を理解し、諸資料を効果的に活用して考えをまとめることができる。
- ・社会的事象に関して多面的・多角的に理解・考察し、諸課題に対して思考・判断したことを説明したり、それらを基に意見を表明したりすることができる。
- ・未来の社会の担い手として、社会的課題の解決を主体的に追求・探求し、よりよい社会の実現を目指して学習に取り組もうとしている。

《評価の方法》

- ・定期考査(観点別に問題を作成)や『確認テスト』の結果、『予習課題』やワークの取組、授業中の発言や授業(『ワークシート』)への取組、ノートや課題の提出状況等を総合的に評価する。

第3学年 教科【数学】

○ 学習目標

- ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
- ・数学を活用して事象を論理的に考察し、簡潔・的確に表現する力を養う。

○ 学習の進め方と学習内容・学習のポイント

- [学校]・先生や友人からの問いを大切にし、自分の考えを更に深めること。
- ・自分が思いつかなかったことや大切だと思ったことはノートに丁寧にまとめること。
- [家庭]・その日に習った内容について、その日のうちにワーク等の問題集で練習をする。
- ・定期考査前は、教科書の問題やワークを復習でもう一度解く。(最低2度やる)

月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
4	【1学期】 1. 多項式の計算	・文字を用いた簡単な多項式について、式の展開や因数分解をすることができるようにする。
5	2. 因数分解	
5	3. 式の計算の利用	・目的に応じて式を変形したり、用いたりすることができるようにする。
6	1. 平方根	・正の数の平方根の必要性に気づき、平方根の性質を調べることができるようにする。
6	2. 根号をふくむ式の計算	・正の数の平方根の計算の意味を理解し、簡単な計算をすることができるようにする。
6	3. 平方根の利用	・数を素因数分解することができるようにする。
7	1. 2次方程式とその解き方	・2次方程式の必要性を知り、2次方程式を解くことができるようにする。
7	2. 2次方程式の利用	・2次方程式の解の公式を使って2次方程式を解くことができる。
8	1. 関数 $y = ax^2$	・事象の中にある関数 $y = ax^2$ の関数を見だし、表現することができるようにする。
9	2. 関数 $y = ax^2$ の性質と調べ方	・表、式、グラフを用いて、関数 $y = ax^2$ の特徴を調べることができるようにする。
9	3. いろいろな関数の利用	・身のまわりにあるいろいろな関数に気づくことができるようにする。
10	【2学期】 1. 相似な図形	・図形の相似の意味を理解し、三角形の相似条件を見いだすことができるようにする。
11	2. 平行線と比	・三角形の相似条件を利用して、図形の性質を論理的に確かめることができるようにする。
11	3. 相似な図形の面積と体積	・平行線と線分の比について調べることができるようにする。
12	1. 円周角の定理	・相似の考えを活用することができるようにする。
12	2. 円周角の定理の利用	・円周角と中心角の関係を見出し、確かめることができるようにする。
1	1. 三平方の定理	・三平方の定理を見いだすことができるようにする。
1	2. 三平方の定理の利用	・三平方の定理を確かめることができるようにする。
2	1. 標本調査	・三平方の定理を利用することができるようにする。
2	1. 課題学習	・標本から母集団の傾向が読み取れることを理解できるようにする。
3	2. 3年間の復習	・簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向をとらえ説明することができるようにする
3	3. 入試対策	・発展問題や探究問題に取り組み、数学的な考え方の豊かさや数学の問題を解く楽しさを感じられるようにする。
3		・基本事項を復習し、問題が解けるようにする。
3		・ワークの問題ができるようにする。

《評価の観点》

- ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。
- ・数学を活用して事象を論理的に考察する力や的確に表現する力などを身に付けている。
- ・数学的活動の楽しさやよさを実感し、数学を生活や学習に生かそうとしている。

《評価の方法》

授業中の学習活動、定期考査、小テスト、単元テスト、自己評価カード、提出課題の内容と提出状況等

第3学年 教科【理科】

○学習目標 ・自然についての理解を深め、自然を調べるための基本的な技能を身に付ける。 ・観察や実験を通して、科学的に探究する力をつける。 ・自然を科学的に探求しようとする態度を身に付ける。		
○学習の進め方と学習内容・学習のポイント [学校]・思考力、判断力、表現力は授業で育ちます。(仮説を立てる・検証方法を考える・結果を分析する など) [家庭]・ワークを計3回はやりましょう(習った日、週末、テスト前)。		
月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
4	1. 化学変化とイオン	・電解質の水溶液に電流が流れるとき、水溶液の中ではどのような変化が起こっているか調べる。
	第1章 水溶液とイオン	・酸性の水溶液やアルカリ性の水溶液には、それぞれどのような性質があるか、それぞれ何が共通して存在しているか調べる。
5	第2章 酸、アルカリとイオン	・ダニエル電池はどのようなしくみで電流をとり出しているか調べる。
	第3章 化学変化と電池	
6	2. 生命の連続性	・無性生殖はや有性生殖は、どのような生殖か考える。
	第1章 生物の成長と生殖	・親の形質は、どのようにして子や孫に受けつがれるのか考える。
	第2章 遺伝の規則性と遺伝子	・遺伝子やDNAに関する研究成果は、どのように利用されているのか考える。
	第3章 生物の多様性と進化	・進化と地球上の生物の多様性には、どのような関係があるのか考える。
	3. 運動とエネルギー	・物体の運動の速さの変化をくわしく調べるには、どうすればよいか考える。
7	第1章 物体の運動	・1 つの物体に、ある角度をもった 2 力がはたらくとき、どのように表すことができるかを調べる。
9	第2章 力のはたらき方	・水中の物体にはたらく上向きの力の大きさは、物体の何に関係するかを調べる。
	第3章 エネルギーと仕事	・運動する物体の運動エネルギーと位置エネルギーには、どのような関係があるか考える。
10		・仕事と力学的エネルギーには、どのような関係があるか調べる。
11	4. 地球と宇宙	・太陽は、1日でどのように動いて見えるか調べる。また、その理由を考える。
	第1章 地球の運動と天体の動き	・真夜中に見られる星座は、1年を通してどのように移り変わるか調べる。
	第2章 月と金星の見え方	・月や金星が満ち欠けて見えるのはなぜか調べる。
	第3章 宇宙の広がり	・太陽系の天体にはどのようなものがあり、どのような特徴をもっているか調べる。
12	5. 地球と私たちの未来のために	・生態系において、それぞれの生物はどのようなはたらきをしているのか考える。
1	第1章 自然のなかの生物	・生物のからだをつくる炭素は、食物連鎖にともなって、生態系をどのように移動しているのか考える。
	第2章 自然環境の調査と保全	・自然環境を保全するためにどのような活動が行われているのか調べる。
	第3章 科学技術と人間	・今後、エネルギー資源をどう利用していけばよいか考える。
2	終章 持続可能な社会をつくるために	・自分たちの住む地域では、どのような災害が起こるおそれがあるか調べる。
3		
《評価の観点》・自然について理解し、観察・実験の操作や記録などの技能を身に付けている。 ・問題を見だし、観察・実験などを行い、その結果を分析して表現できる。 ・自然に進んで関り、科学的に探求しようとしている。 《評価の方法》・授業プリント、授業の活動の様子、実験の技術、定期テスト、単元テスト、小テスト、ワークなど		

第3学年 教科【英語】

○ 学習目標 ・身近な話題について、問答をするなどをして会話を続ける。 ・語と語や文と文のつながりなどに注意しながら、さまざまな主題について、意見やその理由も含めて4文以上で書く。		
○ 学習の進め方と学習内容・学習のポイント [学校]・先生やALT、友達と積極的に英語で尋ねたり伝えたりしよう。 ・授業で学習する英語の文の形・意味・使い方を正確に理解しよう。 [家庭]・予習:単語と本文をノートに書いて、意味調べをしておこう。 ・復習:学習したところの音読、単語練習、ワークなどに取り組もう。		
月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
4	【1学期】 Unit 0 Three Interesting Facts about Languages Unit 1 Sports for Everyone	・これまでに経験したことにもとづいて、相手に合ったプランを伝える。
5	Let's Write 1 有名人への手紙 Let's Listen 1 ディスカッション Unit 2 Haiku in English Let's Talk 1 はじめての出会い	・気持ちを伝えるために、表現方法を工夫しながらファンレターを書く。 ・ディスカッションを聞き、自分の意見を考えるのに必要な情報を理解する。 ・ずっと好きなことや、これまで取り組んできたことについて伝え合う。 ・初対面の相手に配慮しながら、歓迎する気持ちを伝える。
6	Let's Listen 2 講演 Unit 3 Animals on the Red List	・社会的な話題に関する講演を聞き、話し手の伝えたい内容を理解する ・自分の意見や考えを加えて記事を書く。
7	Let's Write 2 記事への意見 Stage Activity 1 My Activity Report Let's Read 1 A Mother's Lullaby	・社会的な話題について、理由や根拠を含めて自分の意見を書く。 ・これまでの経験をふり返って活動報告を発表する。 ・物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解し、気持ちをこめて音読する。
9	【2学期】 Let's Listen 3 ラジオの災害情報 Unit 4 Be Prepared and Work Together Let's Talk 2 町中での手助け Let's Listen 4 テレビの国際ニュース	・災害情報を聞き、どう行動すればよいかを理解する。 ・標識が何を意味しているかを説明する。 ・相手の立場に立って、具体的な提案をしながら申し出たり応じたりする。 ・ニュースなどのテレビ番組の音声聞いて、概要や要点を理解する。
10	Unit 5 A Legacy for Peace Let's Write 3 グラフや表の活用	・人やものについて詳しい情報を加えて説明する。 ・資料から読み取った情報について、事実と意見をわけて書く。
11	Let's Listen 5 世界で働く人へのインタビュー Unit 6 Beyond Borders	・人物の経歴を聞いて、概要を理解する。 ・架空の状況について説明したり、感想や意見を述べたりする。 ・相手の意見を受けて自分の主張を述べる。
12	Let's Talk 3 食品の選択 1 Let's Listen 6 中学校生活の思い出	・スピーチを聞いて、話の概要を理解する。
1	Stage Activity 3 Let's Have a Mini Debate	・主張とその理由を明確にしながら、ディベートをする。
2	Let's Read 2 Power Your Future	・エネルギー問題に関する説明文を読んで、概要を理解し、自分の考えや意見を述べる。
3	Let's Read 3 A Graduation Gift from Steve Jobs 入試対策	・スピーチの原稿を読んで、内容の要点を理解し、自分の言葉で伝える。
《評価の観点》 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる。 ・日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。 ・文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。		
《評価の方法》 定期テスト、パフォーマンステスト、授業や課題への取り組みなど		

第3学年 教科【音楽】

○ 学習目標		
・音楽活動を体験することを通して、音楽への興味・関心を養い、音楽を愛好する心情を育てる。		
・音楽に対する感性を豊かにし、表現する力と広く親しんでいこうとする態度を身に付ける。		
○ 学習の進め方と学習内容・学習のポイント		
【学校】・授業を大切にし、曲の表情に自分の思いを乗せて表現できるようにする。		
・音楽のもつ豊かな表現を感じ、しっかりとまとめられるようにする。		
月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
4	【1学期】 オリエンテーション 曲の構成を理解して曲想を味わおう。 (鑑賞)「ボレロ」	・音楽の1年間の授業について説明を聞く。 ・楽曲を聴き、曲の構成を理解するとともに、各楽器の音色の特徴を捉える。
5		
6	全体の響きや各声部の役割を生かして、 歌唱表現を工夫しよう。(歌唱) 合唱祭課題曲及び自由曲	・パートの役割と全体の響きとの関わりを理解し、曲にふさわしい表現を工夫する。
7		
8	曲の構成を理解して、リズムアンサンブルの表現を工夫しよう。(創作) 「Let's Create!」	・音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照を理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を工夫して音楽をつくる。
9		
10	【2学期】 日本の伝統音楽の特徴を理解して、 その魅力を味わおう。(鑑賞) 能「敦盛」秋保の伝統芸能「秋保の田植踊」	・能の歴史や曲種、謡、楽器などについて知る。 ・郷土の伝統音楽について、音楽の特徴とその音楽の背景との関わりを考える。
11		
12	ポピュラー音楽の特徴を理解して、 その魅力を味わおう。(鑑賞) 「ポピュラー音楽」 「Yesterday」	・ポピュラー音楽について理解する。 ・教科書のロック、ジャズ、ボサノバを鑑賞し、音楽の要素を感じ取る。 ・曲想の違いやリズム、音色、旋律などの特徴を理解する。 ・英語の語感に合ったリズムや曲の雰囲気歌う。
1	和楽器の音色や響きを生かして、表現を工夫しよう。(器楽) 箏曲「六段の調べ 初段」	・楽器の音色や響きと奏法手の関わりについて理解する。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。
2	曲の特徴を感じ取って表現を工夫しよう。 (歌唱)「早春賦」	・日本語の持つリズムや抑揚と旋律との関わりを感じ取る。 ・歌詞の内容を味わい情景を思い浮かべ伸びやかな歌声で歌う。
3		
	混声合唱の魅力を感じ表現を工夫して歌おう。(歌唱) 「卒業式合唱曲」	・パートの役割と全体の響きとの関わりを理解し、曲にふさわしい表現を工夫する。 ・3年間の思いと未来への気持ちを込めて合唱する。
《評価の観点》		
・曲想と音楽の構造や背景などとの関わりや、音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。		
・音楽を形づくっている要素やそれらが生み出す特質や雰囲気について感じ取り、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって演奏したり、聴いたりしている。		
・音や音楽、音楽文化に親しみ、音楽活動を楽しみながら学習活動に取り組んでいる。		
《評価の方法》・授業での観察・音楽活動での協力の仕方とまとめ方・提出物の提出状況や内容		
・実技発表会(授業、行事等)での演奏・鑑賞での感想、まとめ方		

第3学年 教科【美術】

○学習目標		
・美術の学習を通して創造活動の喜びを味わい、主体的に美術を愛好する心情を深める。 ・自然や美術作品の造形的なよさや美しさを感じとり、表現の意図と創造的な工夫を考えて表す。		
○学習の進め方と学習内容・学習のポイント		
[学校] ・自ら学ぶ意欲をもち、授業中の活動・課題に積極的に取り組むこと。 ・発想力、創造的な技能を高めるよう授業に集中し、丁寧に制作に取り組むこと。 [家庭] ・生活と美術との関わりについて深く味わい、心豊かな生活の創造に関心を持つ。 ・ポスターの制作など、家庭での課題に積極的かつ丁寧にに取り組む。		
月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
4	【1 学期】 オリエンテーション 「学びの探求と未来」	・時代を超えて美を探究する思いについて知り、国籍やすむ地域を越えた美術文化の継承と創造について考え見方や感じ方を深める。
5	絵 「今を生きる私へ」	・自分の心の中を見つめ、自分らしさや個性から主題を生み出し、構図や表情などの効果を考え、画材や用具の特性を生かし表現意図に応じた創意工夫をして表現する。 ・自分や友達の作品を鑑賞し、その心情や表現の意図と表現の工夫などについて考え、発表し合う。
6	～15歳の肖像～	
7	鑑賞	
8	デザイン・絵	・文化学習発表会のポスター制作をし、作品発表展示をする。
9	◎夏休み課題(文化学習発表会ポスター・コンクール作品公募への希望出品)	
10	【2学期】 工芸 「自分へ贈る卒業記念品」	・生活の中で使っているもののよさや美しさに関心を持ち、人間の暮らしと工芸の関わりについて学ぶ。 ・生活の中で使う場面を想像したり材料の特性を考えたりしながら、美しさや使いやすさを工夫して発想や構想をする。 ・工芸制作の道具の扱いや特性、基本的な技法を身につける。 ・自分の意図にあった方法で制作する。 ・磨きや塗装など、素材に適した効果的な仕上げの方法について理解し、美しく丁寧に仕上げる。 ・生活の中で使い、作品のよさを味わう。
11	～世界で一つのもの～	
12	鑑賞	
1	鑑賞	
2	「さまざまなアートに触れよう」 「日本の世界文化遺産」	・美術館やアートイベントなど、美術と身近に触れ合える 場所と、地域や社会との関わりや影響について考える。 ・美術や美術文化への見方や感じ方を深め、伝統や文化の創造、心豊かな人間の生活について考える。
3	「受け継ぐ伝統と文化」 「社会に生きる美術の力」	
《評価の観点》		
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表している。 ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		
《評価の方法》		
・学習活動への取り組みの様子、作品制作の内容、発言の内容、制作カード・ワークシートの記述・内容		

第3学年 教科【保健体育】

○ 学習目標		
・健康や安全に留意しながら運動に取り組む。		
・自分またはグループ(チーム)の力に応じた課題を設定し、課題解決に向けて活動する。		
○ 学習の進め方と学習内容・学習のポイント		
[学校]		
・自他の安全に十分留意し、積極的に活動しよう。		
・授業での説明や注意事項をしっかりと聞き、正しい運動技能や知識を身に付けよう。		
[家庭]		
・体力の向上に努めよう。(運動する習慣、規則正しい生活)		
・教科書、学習ノートを利用し、予習・復習をしよう。		
月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
4	・集団行動	・自分の体に関心を持ち、体の調子を整えたり、体力を高めたりする運動を行う。
5	・体づくり運動	
6	・新体力テスト	
7	・陸上競技(短距離、長距離、跳躍)	・自分の記録への挑戦や、仲間との競争を楽しむ。
8	・体育理論	・健康は個人を取り巻く環境や社会環境と関連していることを学び、健康な生活や体づくりに役立てる。
9	・水泳	・文化としてのスポーツの意義について理解を深める。
	※9月上旬までは天候等により、球技、保健(健康と環境)と並行して行います。	・自分の能力に適した課題を設定し活動する。
	・陸上競技(短距離・リレー)	・個人技能と集団技能との関連性を理解し、チームや個人ごとに作戦を立て相手に対応したゲームを行う。
	・審判法を理解し、自分たちで練習やゲームを運営する。	
10	・スポレク練習	・バトンパス技能の向上や、仲間との練習を楽しむ。
11	・球技(ゴール型)	・個人技能と集団技能との関連性を理解し、チームごとに作戦を立て相手チームに対応したゲームを行う。
12	バスケットボール	・審判法を理解し、自分たちで練習やゲームを運営する。
1	・保健分野(健康な生活と病気の予防)	・健康を保持増進するための知識を学び、実践する力を身に付ける。
2	・武道(剣道)	・礼儀作法や相手を尊重する態度を重視する。得意技を身に付け、相手の動きに対応した攻防を楽しむ。
3	・球技(ネット型)	・個人技能と集団技能との関連性を理解し、チームや個人ごとに作戦を立て相手に対応したゲームを行う。
	バドミントン、卓球、テニスなど	・審判法を理解し、自分たちで練習やゲームを運営する。
《評価の観点》		
・運動や健康・安全について理解し、運動の特性に応じた、基本的な技能を身に付けている。		
・課題を見つけ、取組や解決の仕方を工夫し、それらを他者に伝えている。		
・運動の楽しさや喜びを味わえる実践と、自他の健康についての学習に、自主的に取り組もうとしている。		
《評価の方法》		
授業態度(授業への取組)、実技テスト、定期テスト、学習カード など		

第3学年【技術】

○学習目標〔題材：生物育成に関する技術・情報に関する技術〕

- ・プログラミングで考えたようにロボットを動かすことができる。
- ・生物育成を通して身の周りにあるものがどのように作られたのかを理解する。
- ・情報を活用して生活に活かすことができる。

○学習の進め方と学習内容・学習のポイント

〔学校〕

- ・話をしっかり聞き、よく理解し、自分の学習に活かしていこう。
- ・コンピューター室のルールを守り正しく活用し、使用後の後片付けもきちんと行おう。

〔家庭〕

- ・予習：教科書を前もって読んでおこう。
- ・復習：学習したことを振り返り、身の回りのものに目を向けていこう。

月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
4	【1学期】 『わたしたちの生活と生物育成』 ・生物育成とは	・普段食べているものや着ているものやエネルギーに関して生物育成の役割を知る。
5	・作物や家畜などの特性と生物育成に関する技術	
6	『作物の栽培』 ・栽培ごよみ ・栽培に適した環境	・生物の育成に適する条件と育成環境を管理する方法について、知識を身に付ける。 ・学んだことを元に作物に合わせた手立てを行い収穫できるようにする。
7	『作物の栽培実習』 ・種まき	
8	『社会で利用されている計測・制御』	・身の回りにあるものがどのような計測・制御で動いているのかを知る。
9	・制御の学習	
10	・生活の中にある制御	
11	【2学期】 『社会で利用されている計測・制御』	・プログラムをつくり、実行して、課題解決できるかを確かめる。 ・必要に応じて、プログラムを修正する。
12	・計測・制御実習	
1		・情報に関する技術の学習全般を振り返る。
2	『情報に関する学習のまとめ』	
3		

《評価の観点》

- ・学習活動に積極的に取り組み、生活と身の回りの技術の関わりを理解しようとしている。
- ・プログラミングで考えた通りの動きを表現することができる。
- ・作物の特徴やアルゴリズムの考え方を理解することができる。

《評価の方法》

観察記録、定期テスト、レポート、プリントなど

第3学年【家庭】

○学習目標〔題材 家族・家庭生活〕

自分の成長をふり返ることを通して、今の自分を見つめ直し、これからの家族や地域とのかかわり方について考えることができる。

○学習の進め方と学習内容・学習のポイント

〔学校〕

- ・授業を聞いて、ノートをまとめよう。
- ・生活を振り返る場面では、家庭でのことを思い出したり、自分の考えを言葉にしよう。
- ・周囲の意見と比較し、視野を広げよう。
- ・用具を正しく安全に使い、周囲と協力して活動しよう。

〔家庭〕

- ・学習したことを活用し、課題に取り組もう。
- ・テスト前は、授業で学習したことを中心に復習しよう。

月	学習すること(単元・領域など)	学習のポイント(ねらい・主な活動)
【1学期】		
4	A-2 幼児の生活と家族	・幼児だった頃の自分を思い出してみよう。。
5	A-3 幼児とのかかわり 小テスト	・幼児の体や心の発達の特徴を知る。 ・家族や周囲のおとなの役割について理解する。 ・どこでどんな遊びをすることが幼児の発達によいか考える。
6		
7		
8	・絵本の製作	・遊び道具としての絵本の役割を考える。 ・幼児の発達に合わせたおもちゃの原案を考える。
9		
【2学期】		
10	・おもちゃの製作	・幼児が喜ぶ絵本の内容を考える。
11	・おもちゃの製作 小テストorレポート課題	・くるくる回る絵本を作る。 ・読み聞かせをするときの工夫について考える。
12		
1	・幼児とのふれ合い	・幼児とのふれ合い方を考える。 ・ふれ合い体験を行う。
2	A-4 家庭生活と地域のかかわり	・災害が起きたとき、地域にどのような貢献ができるか具体的に考える。 ・誰もが幸せに暮らせる地域にするために必要なことを話し合う。 ・簡単な介助を体験し、関わるときのポイントを知る。 ・多様な人々の違いを認め合い、一人ひとりが尊重されるために必要なことを考える。
3	A-5 持続可能な家庭生活	
	・学習のまとめ	

《評価の観点》

- ・生活に生かすことができる基本的な知識・技能を身に付けている。
- ・家庭生活の中で課題を見つけ、解決策を考え実践、評価するなどして、自分の考えを表現できる。
- ・主体的に生活を工夫しようと考え、実践しようとしている。

《評価の方法》

作品、ワーク、学習の足跡、定期テスト、取り組みの様子 など

第3学年 教科【道徳】

【学習目標】		
1 最高学年としての自覚を深め、自律の精神を重んじ、協力してよい校風を樹立するように努める。		
2 より高い目標を立て、希望と勇気をもって着実にやりぬく強い意志をもつようにする。		
3 温かい人間愛の精神を深めるとともに、謙虚に他に学ぶ広い心をもつようにする。		
4 生命に対する畏敬の念を深め、自然を愛し、人間として強く生きること喜びを見いだすようにする。		
5 社会への奉仕の気持ちを深め、公共の福祉と差別や偏見のない社会の実現に努めるようにする。		
6 日本人としての自覚をもって国を愛するとともに、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする。		
月	教材名	学習のポイント(ねらい)
4	1 言葉おしめ	社会生活の中で礼儀の意義や役割を理解し、時と場に応じた適切な言動をとろうとする態度を育てる。
	2 たんぽぽ作業所	働くことの尊さや意義を理解し、勤労を通じて社会の発展に尽くそうとする態度を育てる。
	3-1 無実の罪	誰に対しても公正、公平に接し、差別や偏見をなくそうとする態度を育てる。
5	3-2 ある日の午後から	主人公の心情の変化に着目して考えることを通して、自主的な考えのもとに誠実に実行し、行動の結果に責任を持つようとする心情を育てる。
	3-3 いじめから目をそむけない	中学生が集まりいじめ防止に向けて行った取組について考えることを通して、いじめの問題に向き合い、自主的に考え判断し、誠実に実行しようとする態度を育てる。
	4 埴生の宿	誰に対しても思いやりの心を持って、ともに生きようとする意欲を育てる。
6	5 背番号15が歩んだ道	自分の生き方に誇りを持ち、夢や希望のあるよりよい生き方を見いだそうとする心情を育てる。
	6 背筋をのばして	家族を敬愛し、家族の一員としての自覚を持ち、よりよい家庭生活を築こうとする心情を育てる。
	7 ぼくにもこんな「よいところ」がある	自己を見つめ、自己のよさに気づき、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする意欲を育てる。
7	8 島唄の心を伝えたい	郷土の自然や文化に愛着を持ち、先人に対する尊敬や感謝の念を深めるとともに、自らもその発展に努めようとする心情を育てる。
	9 花火と灯ろう流し	日本の年中行事について理解を深め、先人たちの豊かな心情を感じ取り、伝統の継承と文化の創造に努めようとする心情を育てる。
	10 早朝ドリブル	心身の健康と望ましい生活習慣との関わりを理解し、進んで節度と調和のある生活をしようとする意欲を育てる。
8	11 ハッチを開けて	美しい地球や神秘的な生命という、人間の力を超越したものに対する尊敬の心情を育てる。
9	12-1 生まれてきてくれて、ありがとう	生命の誕生に対する責任感や喜び、感謝の念、生命の神秘性を通して、かけがえのない自他の生命を尊重しようとする態度を育てる。
	12-2 くちびるに歌を持って	極限の状況にあっても自らの生命の力を信じ、互いに支え合って生き抜いた人々の姿を通して、どんなに困難な状況であっても、自己の生命を守り、大切に生きていこうとする態度を育てる。
	12-3 人間の命とは—人間の命の尊さ・大切さを考える	尊厳死をめぐる裁判を基に、生命の尊厳について様々な立場から多面的・多角的に考え、生命倫理について関心を深めるとともに、自他のかけがえのない生命を尊重しようとする態度を育てる。
10	13 スマホに夢中!	心身の健康と望ましい生活習慣との関わりを理解し、進んで安全で調和のある生活をしようとする態度を育てる。
	14 加山さんの願い	主体的に社会に関わることの意義について理解し、公共の精神を持って誰もが安心して生活できる社会を築いていこうとする意欲を育てる。
	15 好きな仕事か安定かなやんでいる	勤労の尊さや意義を理解するとともに将来の生き方について考えを深め、充実した生き方を追求し実現しようとする心情を育てる。
11	16-1 缶コーヒー	公共の場での決まりの意義を理解し、決まりを守ることの大切さを自覚するとともに、みんなが安心して過ごせる社会を築こうとする心情を育てる。
	16-2 缶コーヒーをめぐるやりとり の場面をやってみよう	缶コーヒーをめぐるやりとりの場面を役割演技することを通して、責任を他人だけに押し付けたり、自分だけで抱えこんだりすることなく、みんなが安心して過ごせる社会を築こうとする態度を育てる。
	17 合格通知	互いの正しい理解によってより豊かな人間関係が築けることが分かり、心から信頼できる真の友情を育てようとする態度を育てる。
12	18 よみがえれ日本海!	自然を愛し感謝する心や、自然環境を守りぬこうとする態度を育てる。
	19 伝えたいことがある	差別や偏見を許さない断固とした姿勢で戦う大石さんの姿に共感することで、誰に対しても公正、公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする態度を育てる。
	20 受けつがれる思い	互いに協力し合い励まし合ってよりよい校風創りに努めようとする意欲や態度を育てる。
1	21 高く遠い夢	より高い目標の実現を目指して、最後まで粘り強く自らの人生を着実に切り開いていこうとする意欲を育てる。
	22 ライバルどうしの友情	友情と信頼の意義を理解し、友情を深めようとする態度を育てる。
	23-1 しあわせ	それぞれの立場を尊重し、寛容の心を持って、いろいろなものの見方や考え方があることを理解しようとする態度を育てる。
2	23-2 おたがいの「ちがいを認め合おう	グループで違う意見が出たときにどうすればよいか話し合う活動を通して、それぞれの立場を尊重し、理解しようとする態度を育てる。
	24 足袋の季節	自らの弱さや醜さを克服する強さを持ち、人間として気高く生きようとする態度を育てる。
	25-1 その子の世界、私の世界	国際的視野に立って国際社会の問題を理解し、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てる。
3	25-2 そのこ	「その子の世界」と「私の世界」の違いを話し合い、国際社会の問題解決について考え、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする態度を育てる。
	26 日本から世界へ	真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出すために努力しようとする意欲を育てる。
3	27 一冊の漫画雑誌	被災地において自分がすべきことを考え行動しようとしている人たちの気持ちを考えることを通して、思いやりの心を持ち、互いに助け合い、心の絆を大切にしながら共に生きていこうとする心情を育てる。
	28 社会からの無言の賛賞を感じる感性	社会参画の意識と社会の一員としての自覚を深め、進んで社会の発展のために努めようとする態度を育てる。
《評価の方法》授業中の学習活動、ワークシート		